

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

- (1) 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、ホース接続ワンタッチカブラーおよびワンタッチソケットを採用しています。

ホース接続ワンタッチカブラー

カチツ
そのまま差し込む
取付け時

グリーンのスリーブ
グリーンのスリーブを押し下げる。
取外し時

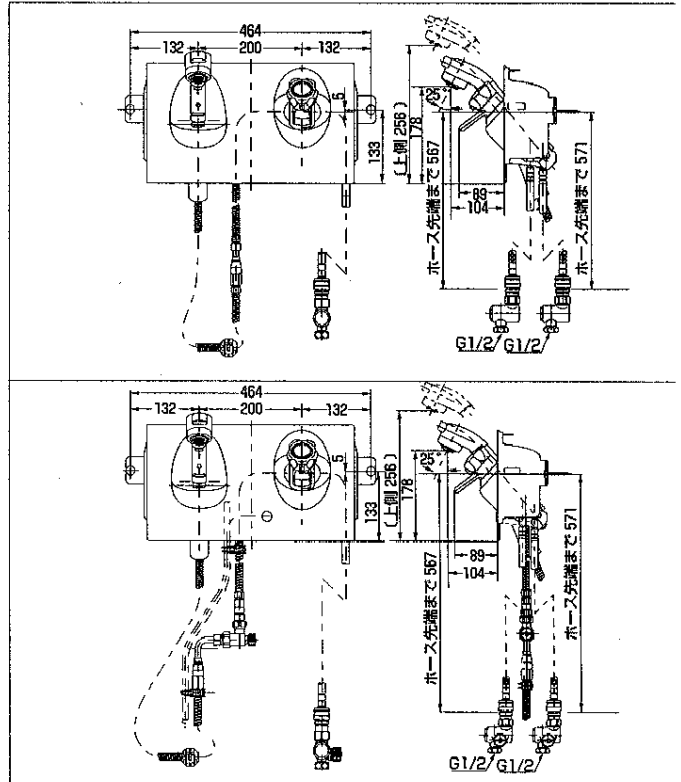
ワンタッチソケット

給水・給湯
ホース
そのまま差し込む
カチツ
取付け時

① ストッパーを押す
② スリーブを下げる
③ ホースを引き抜く
取外し時
ストッパー (グリーン)

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



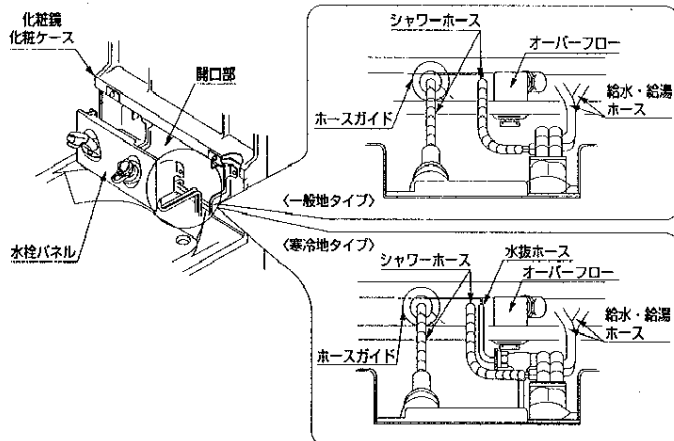
使用条件

1. 使用水圧
 - 最低必要水圧… 0.05MPa
 - 給水圧力
 - 最高水圧… 0.75MPa
2. 湯・水を逆配管しないでください。
給水ホースには◎ラベルを給湯ホースには⊕ラベルを張付けています。
3. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓をご用意ください。

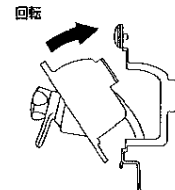
器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 水栓パネルの取付け

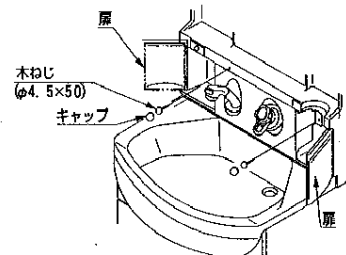
(1) 水栓の給水・給湯ホース及びシャワーホース(2本)を化粧鏡及び化粧ケースの開口部に差し込んでください。その際、ハンドシャワー側のシャワーホースはホースガイドの中を通してください。



(2) 水栓パネルを回転させるようにセットしてください。

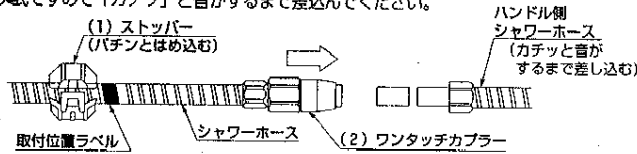


(3) 付属の木ねじ(2本)で確実に固定して、化粧キャップ(2個)をはめ込んでください。その際、電源コードを傷つけないように注意してください。

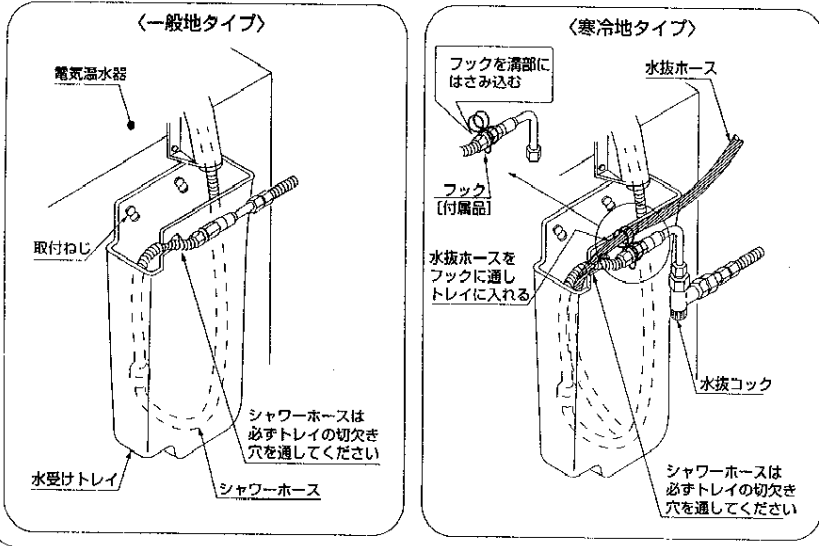


3. シャワーホースの接続

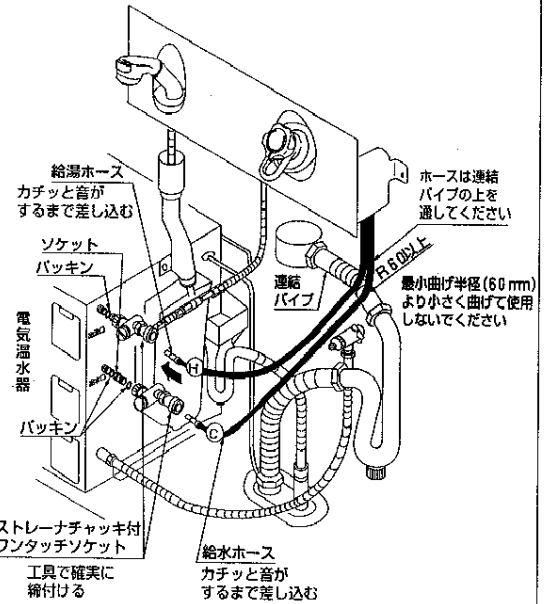
- ホースガイドに通したシャワーホースに張付けている取付位置ラベルに合わせてストッパーを取付けてください。
- ストッパーを取付けたシャワーホースを、ハンドル側のシャワーホースと連結してください。
ワンタッチ式ですので「カチッ」と音がするまで差込んでください。



- 水受けトレイにシャワーホースを入れて、電気温水器側面についている取付ねじにトレイの穴を掛けてください。



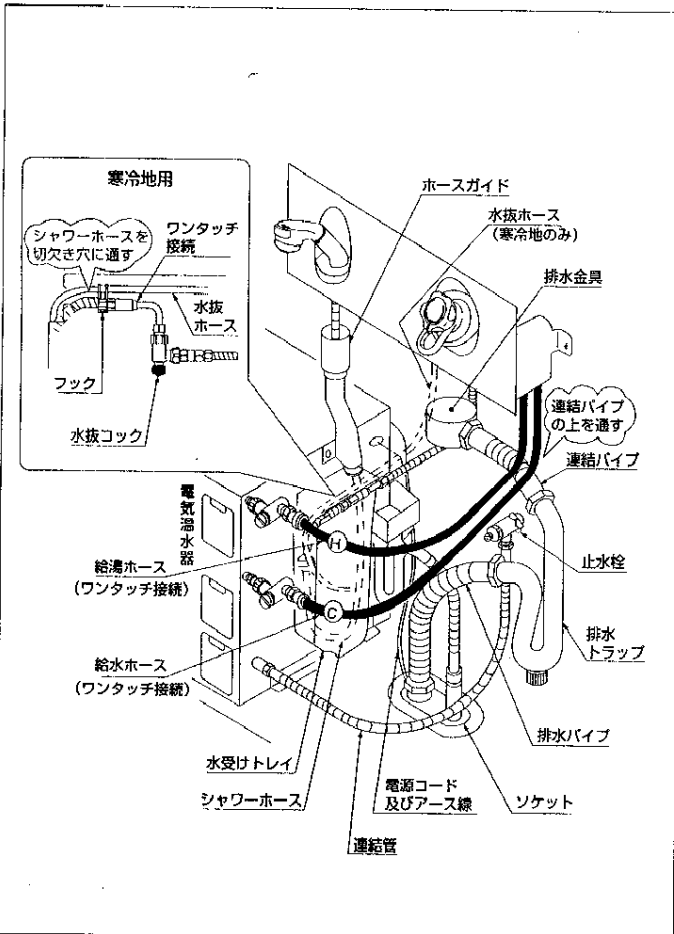
4. 給水・給湯ホースの接続



※ホースは最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないよう、ご注意ください。又、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。

5. 取付完了図

下図のように接続されていることを確認してください。



取付後の調節

- ストレーナの掃除**
ストレーナが詰まると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりする等十分な機能が發揮されなくなります。器具取付け後は「取扱説明書」の、手入れのしかたをご参照になり、必ずストレーナを掃除してください。
又、お客様にも時々掃除していただくようご指導ください。
- 温度確認及び調節**
工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況等によって、目盛りどりの吐水温度にならない場合があります。その場合は「取扱説明書」の温度調節のしかたをご参照になり、温度調節を行ってください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかい布でふいてください。
- スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。又支柱部に油、オイルなどは絶対に付けないでください。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

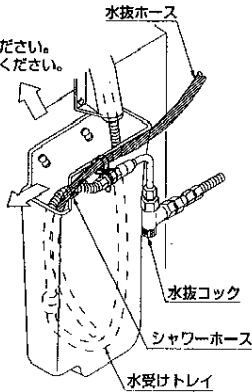
寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれがある時期に施工された場合には水抜き栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。又、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

水抜方法

②水受トレイをはずしてください。
一度上げて手前に引いてください。

①シャワーホースを
矢印の方に引っばり、
水受トレイよりははずしてください。

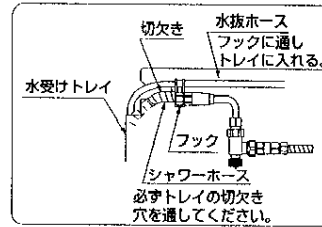


②温度調節ハンドルを“H”側いっぱいに戻し、
シャワーヘッドから水が出なくなってから更に
ハンドルを“C”側いっぱいに戻す。

水抜きの際ハンドシャワーを振ると
中の水が抜けやすくなります。

①全ての水抜きコックを開けます。

キャップを外し、穴の奥の
水抜きコックをマイナスドライバー等で、開閉してください。

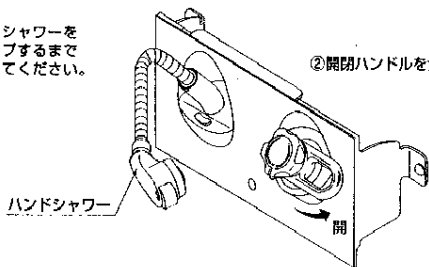


※水抜きコックを開ける時は
受け皿等で受けてください。
※水抜き後は必ず水抜きコック
を確実に閉めてください。
※水抜き後は必ず元のように
セットしてください。

1
2
3

①ハンドシャワーを
ストップするまで
引出してください。

②開閉ハンドルを全開にしてください。

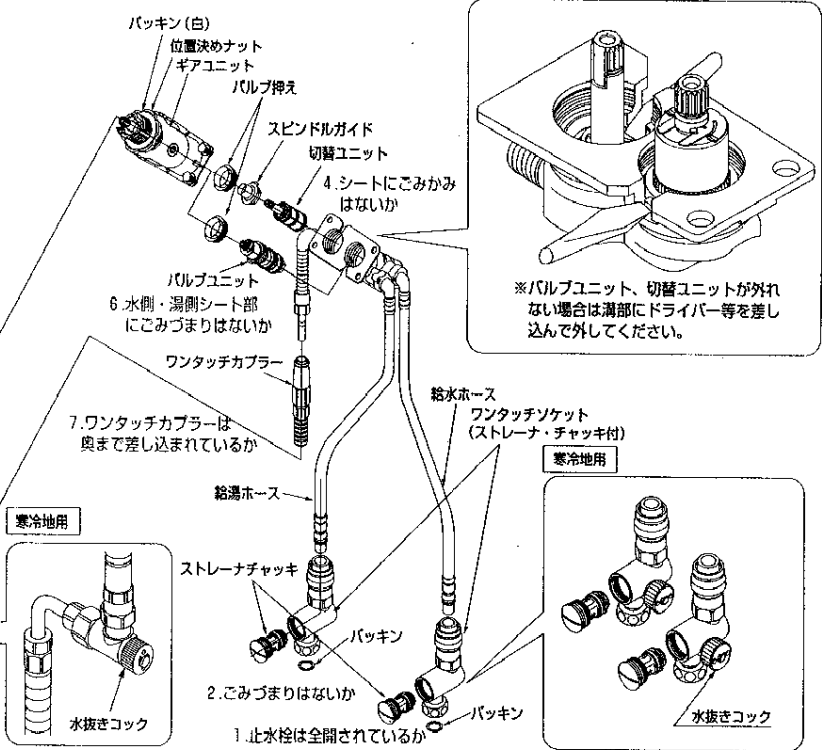
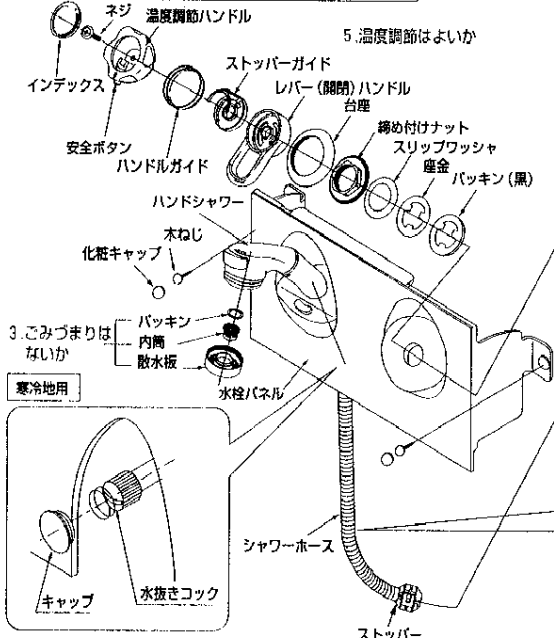


分解と点検

取付後、万一故障した場合は次の要領で分解及び点検を行ってください。

※注意 ギヤユニット・バルブユニットは絶対に分解しないでください。

現象	点検項目
流量が少ない	1・2・3
水が止まらない	4
高温しか出ない	1・2・4・5・6
低温しか出ない	1・2・4・5・6
目盛りどおりのお湯が出ない	1・2・4・5・6
通水時、床がぬれる	7



※バルブユニット、切替ユニットが外れない場合は溝部にドライバー等を差し込んで外してください。

